

卓 話

平成 30 年 1 月 16 日

『 ローターリー五大奉仕 』

岐阜Aグループ ガバナー補佐 箕浦洋和様

ロータリーの目的（綱領） **Object of Rotary** の実践活動の枠組みとして、五大奉仕がある。この理念に基づいて具体的な奉仕活動を展開し、『奉仕の理想』 **Service Above Yourself** を具現化していく。

ロータリーの奉仕を大きな木に例えると、

大地にしっかりと結び付いた根は【**職業奉仕**】

空に向かって真っ直ぐな太い幹は【**クラブ奉仕**】

幹から大きく張り出し茂った枝と葉は【**社会奉仕**】【**国際奉仕**】

先端には若葉が芽を吹きやがて実を成すのは【**青少年奉仕**】

これらの奉仕を貫く思想を奉仕の理想と呼ぶようになりました。



1. 職業奉仕

ほとんどの職業は社会のニーズによって成り立っている。それ故、その展開・活動に対して、評価がなされ、対価が得られる。四つのテストをはじめとするロータリーの理念に基づく活動こそが、社会に対する究極の『**I Serve.**』であり、奉仕の理想の実現と考えます。

2. クラブ奉仕

その倫理観ある職業奉仕を行う人々「ロータリアン」が集まり、互いの奉仕の意識をより一層高める場が定期的に行われる**例会**であります。くつろいだ雰囲気での情報の交換や研修を行うことにより、資質向上を図り、仲間意識を養うためにも**例会**は親睦の重要な出会いであります。

3. 社会奉仕

例会等で養った奉仕の気持ちは、地域社会での歪や問題等を解決すべく、積極的な奉仕活動へと進化していく。その**クラブ存在意義**を地域に示し、多くの賛同者に入会を促し、地域にとってロータリークラブが認知され大きな力となっていく。

4. 国際奉仕

その奉仕の心はやがて海を越え、海外にまでも広げ、スケールの大きな奉仕活動に発展する。ロータリー財団やWCS等の資金を活用した**グローバルな奉仕**となっていく。その活動により、現在も多くの才能ある人々が世界の舞台上で活躍されています。

5. 青少年奉仕

ロータリアンとしての奉仕の理想を次の世代に引き継ぐためにも、感受性が高く精神的成長に影響が強い年代への働きかけは重要です。ロータリーはその奉仕の場としてグローバルな組織を活用した多くのプログラムを用意し、彼らの地域でのまた、国際的な場での**成長活躍**を促すために青少年奉仕に努めています。